

大阪大学生協 院生委員会 新学期院生向け冊子

第198号



取り組み概要

背景：「大学院生も新生活のスタートに際して情報を手に入れたい」「大学院生向けの入学情報をどう入手すべきか分からない」との声があり、先輩大学院生の目線で大学院進学に必要な大学生活についての情報を伝えるリーフレットを作成した。

概要：冊子の中には、院生生活をはじめ、教授インタビュー、進路についての情報、生協や大学のお得情報や各キャンパスの紹介など、他大学から進学した新入院生にもわかりやすい内容となっている。

院生の不安を取り除くプラットフォームに

POINT.1

新入院生のコミュニティ形成



大阪大学の院生の中には、他大学からの新入院生も多く存在します。**外部からの新入院生は、学部新入生と異なり、新入生歓迎イベントが企画されないなどの理由で、阪大生協と接点を持つことが難しくなります。**その結果、阪大生協をよく知らないまま入学を迎えてしまうため、生協の提供するサービスを十分に活用できないという現状があります。また、新入院生全体において大学院生活の全体像を掴めないまま入学し、**進路や研究に関する不安を解消できず、学部生と比べて、ゼミや研究室といったコミュニティ以外との繋がりを持つことが難しい傾向にあり、**情報収集に苦戦する大学院生も少なくありません。そんな中で、院生目線で作った冊子によって、解決の糸口を提供できるのではないかと考え、本冊子が作成されました。

POINT.2

大学院生のリアルを伝える

記事の中では、**2020年秋に大学生協が実施した「院生生活実態調査」のデータをもとに、現役阪大院生199名のリアルな生活が掲載されていました。**大学院生独特の過ごし方や進路選択、自宅生・下宿生別のお財布事情など、新入院生が大学院生のリアルの全体像を把握し、自分なりの院生生活を創り上げるスタートをきれるような工夫がなされていました。**先輩や同期の院生と繋がる機会がなかなか少ない新入院生にも、非常に役立つ内容となっていました。**



POINT.3

大学院生向けのたすけあい



院生生活の中でも、学部生とは異なったリスクが潜んでいます。ここでは、**院生に特有のリスクについて取り上げ、「予防」を行うとともに、CO・OP学生総合共済の紹介がなされていました。**院生の実際の給付事例をもとに、大学生協がおススメする保障制度を紹介し、給付漏れを防止し、安心して院生生活を送ることが出来るような記事になっていました。ほかにも大学生協のサービスは院生組合員にも役立つものが多くあります。記事では、お部屋探しや研究用品をはじめとするサービスについても触れられていました。**大学生協のサービスが、院生のキャンパスライフを支えるという魅力が伝わる内容となっていました。**



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [中村 憲太郎]
Nakamura.Kentarou@univ.coop